

令和4年度 自己評価・学校関係者評価報告書

学校法人大利根学園
大利根ふじこども園

1. 本園の教育目標

子どもひとりひとりを大切に、豊かな子どもの育成を目指し、「やさしく たくましく げんきなこども」を教育・保育の目標として、次の3項目と6つの目指す幼児像を掲げる。

- みんななかよく・・・思いやり
 - ・約束を守り、仲良く遊ぶ子
 - ・人の痛みのわかる、思いやりのある子
- 自分のことは自分でできる・・・自立心
 - ・友達と遊び、健康でたくましい体をつくる子
 - ・人の話をよく聞き、自分の考えや思いを話すことができる子
- つよいからだとやりとげる心・・・生きる力
 - ・元気にあいさつができる子
 - ・生き生きといろいろなものに興味を持つ子

2. 本年度重点的に取り組む目標・計画

昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、保育や園行事のあり方を見直し、教職員同士が共通理解をはかりながら実践することで教育・保育の質を高める。指導計画を振り返り、子どもたちが自ら考え行動できるように環境づくりをさらに進めていく。

また、昨年同様、保護者ともコミュニケーションをとり、園児についての情報を共有し共通理解をはかることで、よりよい保育に生かしていくようにする。

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

	評価項目	評価	取り組み状況
1	子どもとの信頼関係の確保	B	一人一人の園児に対してスキンシップや遊びを通して子どもとの関係を深めてきた。スキンシップは子どもの心の安定に繋がり、安心して自分の思いや考えを表現できるようになる。但し、関係が密になることと子どもに対しての言葉遣いは別である。保育教諭としての適切な言葉遣いや適切な対応の仕方が課題である。
2	特別支援教育	B	支援が必要な園児について教職員間で共通理解をはかり、医療・福祉の関係機関と連携しながら、園児への対応の仕方を工夫してきた。支援が必要な子が多く対応しきれないことや保護者への関わり方等で困難なこともあった。加配の配置や一人一人に応じた個別の指導計画の作成が課題である。
3	子どもへの共通理解と保護者との連携	A	園児一人一人について保護者との共通理解をはかるため、1日保育体験や面談、保育参観等を工夫しながら再開した。またできるだけ、保護者と連携して園児の成長を共に喜べるようにしてきた。

評価 (A…十分に成果があった B…成果があった C…少し成果があった D…成果がなかった)

4. 総合的な評価結果

評価	理由
B	今年度もコロナウイルス感染症と付き合いながらの保育や園行事に取り組んだ。その中でも教職員は子どもとのコミュニケーションをたくさん取り、一人一人の個性を理解していった。保護者とも直接話す場面が増えてきているが、直接会えない場合は手紙や電話などの手段を用いて意見交換を行うことで、情報を共有し、保育に生かすことができた。教職員が客観的に自らの保育・教育を振り返ることで、明らかになった課題を次年度の新たな課題として取り組み、さらに工夫・改善していきたい。また、課題への取り組み状況を教職員間で情報共有し、共通理解することで、本園としての保育・教育目標を達成することができると思う。

評価 (A…十分に成果があった B…成果があった C…少し成果があった D…成果がなかった)

5. 今後取り組む課題

	課題	具体的な取り組み方法
1	教育課程の編成と評価・改善	日々の保育・教育の内容の見直し、改善していくことで、次の保育活動や環境構成に生かしていく。また、子どもの成長の様子や変化を記録し評価することで、ひとりひとりの子どもの思いや自主性を尊重し、保育教育活動に取り入れていく。
2	日常保育のための環境構成	子ども達が自発的にかかわれる環境の構成やこども園として異年齢の子どもが交流できるような機会が特に1号認定の子どもは行事のみになりがちであるので、保育の中で時間をつくる取り組みを行っていく。
3	特別支援教育	支援が必要な園児に対しての支援計画をもとに、医療・福祉の関係機関とも連携して支援していく。また、園全体で気になる子への対応のしかたを協議し、その保護者とも共通理解を図りながら支援できるようにする。支援の必要な子にそった人的環境整備等も課題である。

6. 学校関係者評価

教職員による自己評価及び保護者による学校評価をもとに評価を実施した。今後のこども園運営の改善と発展に努めていく。

- ・概ね適切な保育運営がなされている。
- ・子どもたちは、コロナ禍ではあるが、保育内容を工夫しながらのびのびとした中にも規律ある生活している。
- ・園行事等も感染状況を考慮しながらも、子どもたちの成長への必要性を考えて工夫しながら実施し、子どもたちの園での様子や成長する姿を見ることができた。
- ・安全面や衛生面からも引き続き、園内の施設・設備の整備を進めてほしい。

7. 財務状況

公認会計士監査により、適正に運営されていると認められている。